リーディングDXスクール事業 【実践事例】

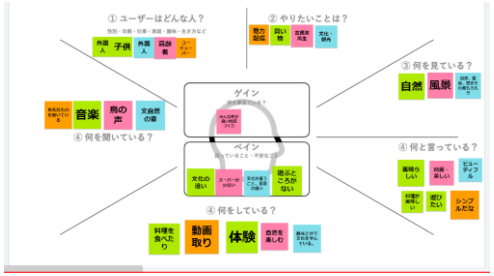
上板町立高志小学校

【取組内容①】 外部講師から学んだ事をスライド等のツールやクラウド環境を使用し、テーマに沿って協働学習

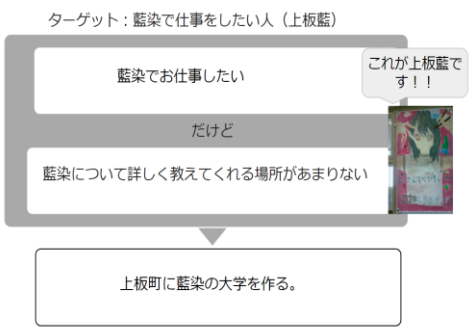
外部講師から学んだことをアウトプットするため、発表会を計画しました。発表に向けた資料作成をスライド等のツールを使いながら作成、またグル-プワークを行うことで「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実に取り組みました。一人一人の生徒が自分の考えを発信し、他者の意見も尊重する。異なる意見が組み合わさることで、よりよい内容を追求できました。下記は発表までに生徒が行った内容です。

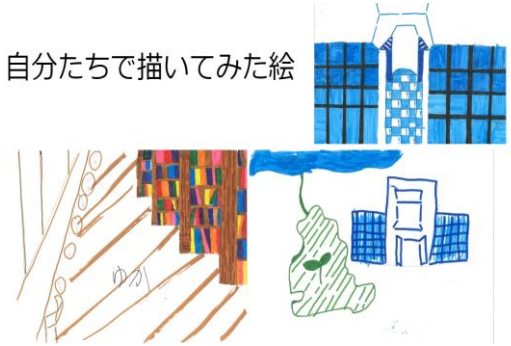
発表テーマ
「10年後、上板町が住みたい町No.1になるためには」

①GoogleJamboardを活用したアイデア共有



②Googleスライドを活用し、アイデア共有に基づいた発表資料の作成





③イメージをキーワード化し、
生成AI画像ツールにて、画像を生成

⇩

画像を活用することで、発表者のイメージを見学者により具体的に伝える事が可能です。